



ほこみちインスパイアフォーラム 2024に今年も参加してきました！

群馬県 県土整備部 都市計画課

■ はじめに

2025年1月21日(火)に、東京都大手町の大手町サンケイプラザホールで開催された国土交通省道路局主催の『ほこみちインスパイアフォーラム2024』にまっちい～ずから3名が参加してきました！今回が4回目のほこみちインスパイアフォーラムということで、思い返すとまっちい～ずは3回目の参加で皆勤賞とはなりませんでした。参加する毎にスケールアップしており、今回の2024も含め毎回インスパイア(強い影響)されちゃうフォーラムです。WEB参加もできますが、やっぱり現場だと参加者の熱気を感じることができるのでその影響もあり、まっちい～ずもとても楽しい取材となりました。

今回のテーマは『ほこみち領域∞ムゲンダイ！』と題して、メインスピーカーとトークパートナーとのみち活クロストークセッションでの道路空間活用の深掘りや、活用に挑むプレーヤーの方々の様々な『ほこみち』の取組みを紹介するトレンド&トピックなど盛りだくさんで進行し、盛り上がりすぎて終了時間が1時間近く押してしまったうえ、それでもまだ話し足りないという状況に年1回のイベントではもったいないと思いました。

■ みち活クロストーク

オープニングから『皆さんは好きなストリートはありますか』と道路局の留守調整官より投げかけがあり、調整官からはまさかの裏原宿キャットストリート！が大好きとのお発言。(あとで、池袋グリーン大通りと言うべきだったと反省の弁を述べられておりましたがストリート系ファッションの聖地とストリートを掛けた個人的にはなるほどと思えるナイス回答でした)

出だしからシナリオ通りには行かない予感がしたところで、まちづくりネイバーフッドでは、知らぬ者はいないメインスピーカーの方々とトークパートナーとのみち活クロストークに入りましたが『ほこみち』という制度の枠組みにとらわれない、歩行者空間、道路空間の未来が次々と展開しました。(まさしくインスパイアザネクスト的なお話です)

DX技術がもたらす歩行者空間の大変革は、自動運転等により安心して多様な使われ方が実現し、信号機などもいらなくなる。ヘルシーでグリーンで(アウトドア)リビングで公園のようなサードプレイスになる、みちを居場所にすることができるなど、人と人をつなぐ新たな空間・新たな価値を創造する場所になるとみちの可能性について様々な視点からトークが行われました。その中でも、まっちい～ずで注目したのがデザイン力です。対話のデザイン力では、人を巻き込みフラットな関係になるまでは、あきらめずに編集しながらやりつづける、対話相手が喜ぶことを含めて提案するなど、全て1回で解決しようとはせず、少しずつみちの景色が変わる過程を見せ続けることが重要だと思いました。また、実験のデザイン力では、みちにある仮設物と言えど、その質が人々の行動をも変える力があるということです。実験という範囲を超えた高質な空間デザインをしつらえると人々は引き寄せられる。そして、実験はただのお試しではなく戦術的なアクションとしてスピーディーにグリラ的に展開することで、いずれは点から面(エリア)に波及する、波及を検証し実装することで最終的にはビジョンとしてまちの戦略にまで昇華できる、デザインの持つ力というのが非常に重要であることがわかりました。

■ おわりに

ほこみちインスパイアフォーラム2024は国土交通省道路局主催の取組になりますが、メインスピーカーやトークパートナーを見ても都市局関係の顔ぶれも多いです。国土交通省も局という現体制のままで『ほこみち』や『ウォカブル』というキーワードを基に道路局と都市局で連携するとかかりを探している最中であると思いました。局、管理者、プレーヤーなどの垣根を越えて道路空間が変革した景色を見るためには、人中心、人々の行動変容が不可欠であると感じます。行動変容の途中では時に不便を被ることもあるとは思いますが対話のデザイン力を駆使してあきらめずにやり続けていくことでみちの領域は∞ムゲンダイ！



国土交通省道路局 留守調整官
気仙沼市ほこみち事例



DXと未来の歩行者空間



群馬県官民連携まちづくりシンポジウム
講師の今さん